

聖霊降臨節第二十一主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】
前 奏（黙祷）
「来ませ、聖霊よ、心を満したまえ」
H.グラプナー作曲
あいさつ
讃 美 讃美歌 21/481 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 119 篇（シン）
【第一部 み言葉の礼拝】
聖 書
✙ イザヤ書 61 章 1～3 節
✙ ヨハネによる福音書 8 章 1～11 節
（旧約 P.1162、新約 P.180）
応 答 唱 讃美歌 21/46 番
教 話 井上隆晶牧師
『わたしも罪に定めない』
使 徒 信 条
【第二部 聖餐礼拝】
奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐
【応答と派遣と祝福】
讃 美 讃美歌 21/431 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「幸いな人」
（讃美歌 21 の 153 番）
H.フォーゲル作曲

【本日の礼拝奉仕者】
司式補佐 寺田律子
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 エリザベス・P
受付当番 菱田朱美
【本日の予定】
◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：小坪英恵
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈祷会（礼拝後）
【今週の教会での集会のご案内】
◇朝の祈り
・10 月 28 日（火）午前 9 時
・10 月 31 日（金）午前 9 時
◇英会話グループ
・10 月 30 日（木）午後 7 時 30 分
【次週主日 11 月 2 日のご案内】
◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：澤田昌人
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✙ イザヤ 65：1～5
✙ ヨハネ 8：21～25
・教 話 井上隆晶牧師
『上のものに属しなさい』
・讃美歌 21 18、46、120
・交読詩篇 詩編 119（タウ）
・司式補佐 屋宮英男
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 山千代誠子
・受付当番 澤田真弓
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈祷会（礼拝後）

聖 句

「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはならない。」

（ヨハネ 8 章 11 節）



【諸報告・個人消息】

①《今週の井上牧師の予定》：27 日（月）午後 1 時 30 分「シャロン千里礼拝」、11 月 1 日（土）午前 10 時「シャロン千里入居者面接」
②《11 月の教会行事予定》
■11 月 2 日（日）午後 1 時「定例役員会」
■11 月 3 日（月・祝）午前 12 時「墓前礼拝（関西メモリアルパーク）」教会に 11 時に集合し、お車に分乗して向かいます。直接現地に行っても大丈夫です。各自お昼ご飯をご用意ください。
■11 月 5 日（水）午後 2 時「大阪 YWCA 聖書を学ぶ会」参加費 500 円
■11 月 18 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」参加費 500 円
■11 月 23 日（日）午前 10 時「収穫感謝礼拝」、礼拝後「鍋会」
■11 月 24 日（月）午後 1 時 30 分「シャロン千里礼拝」
③本日、予定していました教会修養会は、参加者が少ないので延期いたします。昼食もありません。日程はまた後日、お知らせします。
④【祈祷課題】新しい教会堂を立てる為。ウクライナとガザに平和が実現する為。刑務所にいる友と家族の為。子供たちの成長の為。新しい信徒、求道者が与えられる為。
⑤【先週の集会統計】

日	集 会	男	女	大人	計	礼拝献金
19	CS 礼拝	0	1	7	8	¥1,950
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
19	朝の礼拝	6	16	4	26	¥17,150
21	朝の祈り	3	3	—	6	
24	朝の祈り	2	4	—	6	

⑥【10/19 の献金報告】
〔月定〕小淵公子、小淵賀裕、畑耕太郎（計 18,000 円）〔感謝〕畑季史子、畑耕太郎、畑真理奈、中村恵子（計 11,300 円）〔建築〕畑耕太郎（計 5,000 円）

【先週の説教要旨の続き】

ペトロとヨハネは生まれながら足の不自由な男の人に「わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」（使徒 3：6）と言って彼を癒し、歩けるようにしました。この生まれながら足の不自由な男は、今までは人を頼って生きてきたのですが、これからはキリストを頼って生きる生き方へ変わったのです。キリストを信じた時、彼は自由になり、自分の足で歩き始めたのです。ここに新しいイスラエルの民が誕生したのです。新潟にある敬和学園高校の校長をしている榎本栄次先生はこうに言っています。「人間はどんな人でも絶望する。親しい友、愛する者との別れ、持っている者との断絶がやってくる。…しかし神と交わると平安がやってくる。この平安は人間が築き、蓄えてきたものではない。こちら側にあるものではなく、それが断ち切られたところに神の側からやってきた平安である。神との交わりから得られたものである。それは誰も盗ることも裂くこともできない平安である。」私たちが絶望したり、失望したりする時というのは、だいたいこの世のものを頼りにしている時です。自分に頼り、家族に頼り、自分の周りの人に頼り、自分の周りの状況に頼っている時です。そして「ああ、この人も頼りにならない。」と言い、自分の周りの状況を見て「何も奇跡は起きない」と言い、自分を見て「お金もない、能力もない」と言い、気持ちが落ち込み、絶望するのです。この世を見るところからは希望は来ません。希望は神とキリストから来るのです。そして神から来たものは消えないのです。必ず何かを起こし、何かを始め、驚くべきことをします。だからこの世に頼ってはいけません。キリストだけを見つめ、キリストだけを頼りにしましょう。「人間に頼るのをやめよ。鼻で息をしているだけの者に。」（イザヤ 2：22）です。